

言語能力をはぐくむモデル校

生徒が主体的に参加できる授業をめざして  
～ゴールを見据えた言語活動の研究～

茨木市立平田中学校

茨木市立平田中学校

# 学校紹介

## ○沿革

1980年 東中学校、南中学校を分離  
茨木市12番目の中学校として開校

## ○生徒数 510名

1年生 5クラス 2年生 4クラス・3年生 5クラス  
(支援学級4クラス)

## ○校訓 自主・自律・友愛

# 2025年度 平田中学校図書館教育目標

## 年間目標

### 「読書」

読書活動を通して、広い世界に触れ、豊かな心を育む。

### 「情報・学習」

知的好奇心を引き出し、情報の収集・選択・活用能力を育成する。

# 学校図書館を活用した授業を通して…

- ①いろいろな本棚へ誘うしかけ
- ②教科書では学べないことを学ぶ
- ③子どもたちの思考を促す 力を伸ばす

- 中学校時代までに、本棚へ行き、本を探し、情報を集める経験を
- 各教科で学校図書館を活用した授業を行うことで、幅広い本棚へ行くのと同じ経験ができる。

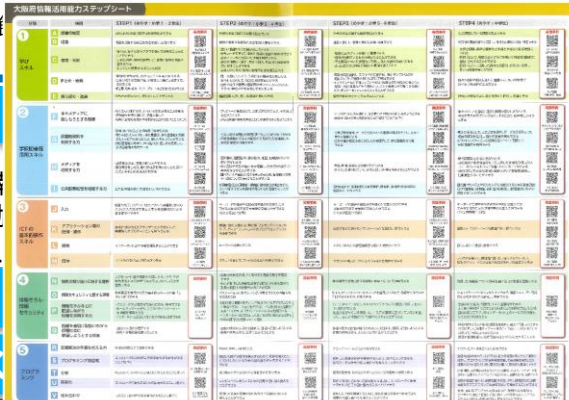
NDC	分類	令和5年度	令和6年度 (GTM含む)
0	総記	35	35
1	哲学	46	93
2	歴史	88	124
3	社会科学	134	195
4	自然科学	119	144
5	技術	38	85
6	産業	15	49
7	芸術	100	166
8	言語	28	79
9	文学	1,398	1372
	絵本その他	22	24
合計		2023	2366

### つきたい力

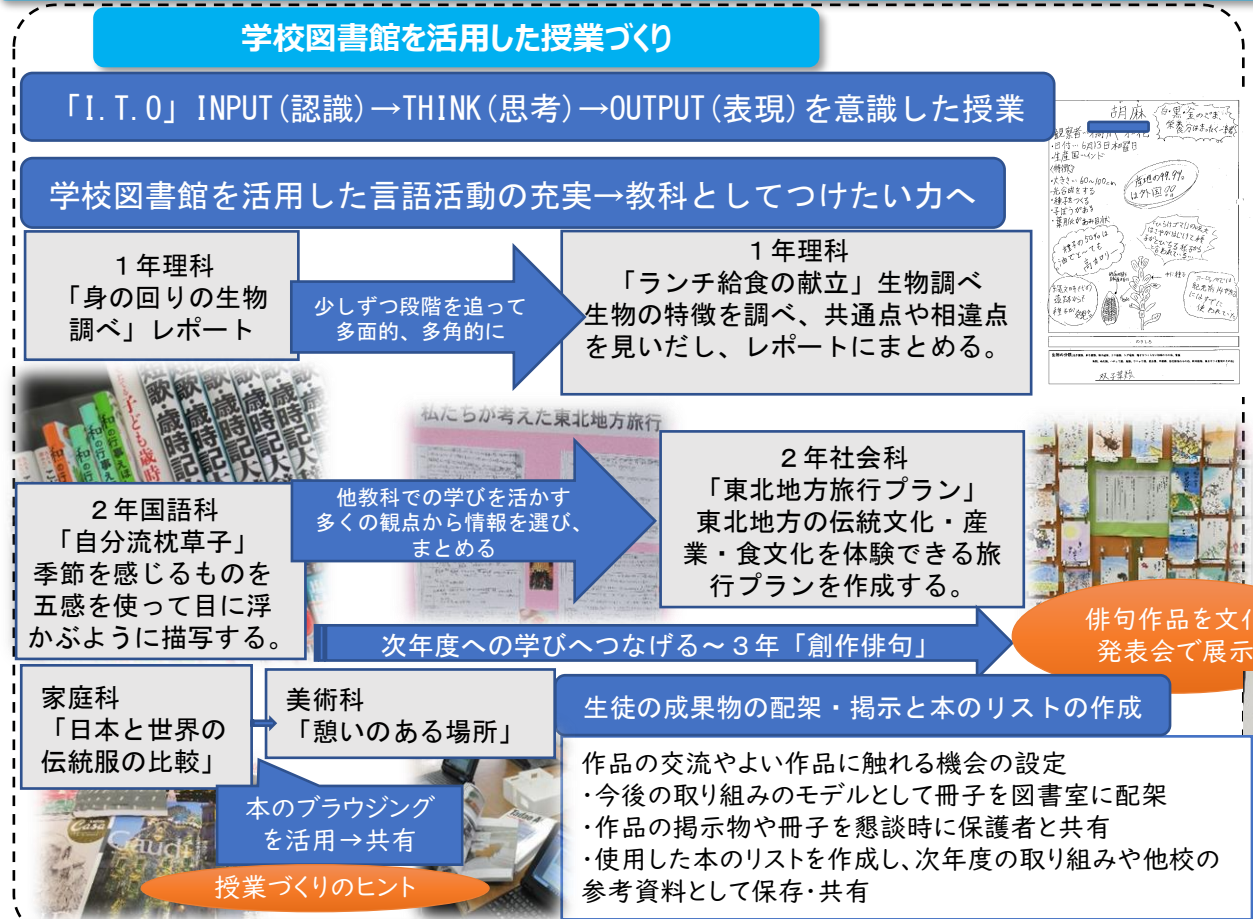
- ・自ら課題を設定して取り組む力
- ・正しく情報を活用する力
- ・自分の考えをまとめ、伝える力

### 取組みの概要・ポイント

- ・今までの平田中学校の学力向上の取組みを土台にした、図書とICTを活用した情報活用能力の育成
- ・図書委員会の活動に加えて、特集や展示を通して、「読書の芽」を育て、読書活動の充実を図る



## 思考力・表現力の育成につながる読解力の向上～情報活用能力を育てる学校図書館～



### 本に親しむ場づくり

図書委員会の活動ー「人を育てる本」

- ・朝読寸劇・ブックトーク・平和読書会
- ・文化発表会での展示

前半期の取組みをまとめて展示し、全校生徒に紹介。推薦文と本をセットにして紹介＆学習内容に関する本の紹介など。

特集・展示

和楽器 和太鼓 尺八 三味線

生徒の心に「たねをまく」「たがやす」

学習内容や時季・出来事に合わせた本の紹介を目に触れるように

学び方指導体系表 使用した本のリスト

学び方指導体系表QR 本のリストQR

## 大阪府情報活用能力ステップシート

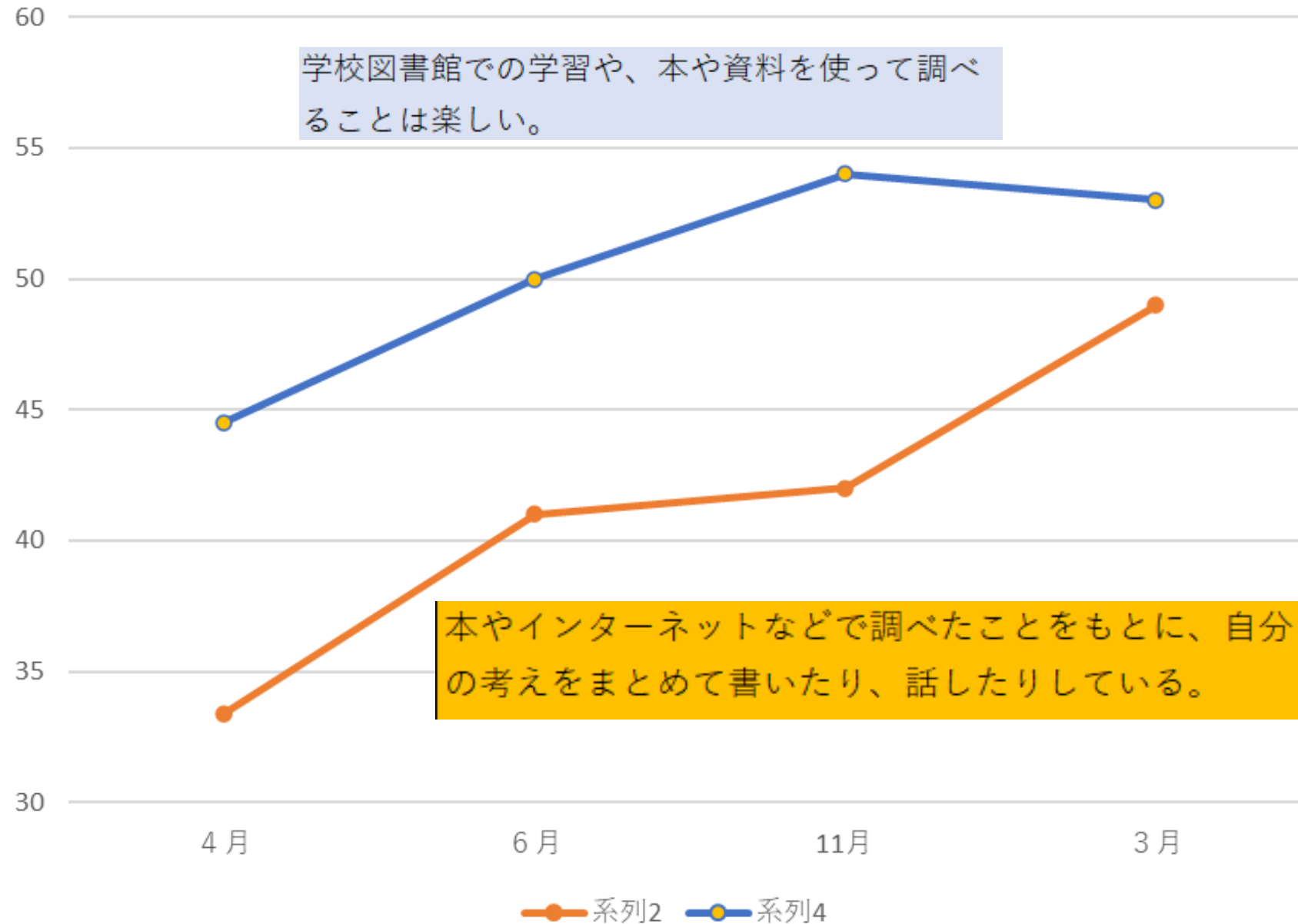


### 取組みを通しての子どもの変容

図書や資料を活用し、言葉や内容、表現にこだわり、よりよいものに仕上げようと粘り強く取り組む生徒の姿が見られた。本を活用することで新鮮な発見があり、生徒の思考を促すことにつながっていると感じる。

	4月	7月	12月
図書館資料やインターネットなどで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている。	33.4%	40.5%	42.0%
学校図書館での学習や、本や資料を使って調べることは楽しい。	44.5%	49.9%	54.0%

## GTMアンケートまとめ



全国学力学習状況調査（生徒質問紙より）	肯定的回答の割合%		
	本校	府	全国
質問			
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	80.6	77.5	79.2
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか	80	73.3	76.6
1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	72.2	63.7	63
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	77.6	76.2	76.2
数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	59.4	59	58.6
自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	58.2	54.4	56.2

# GTMふりかえり

学校図書館の活用が有効な  
場面を考える



よかったこと	課題
教科書だけでは得られない知識を習得したり、より生徒の生活に身近な教材を取り扱うことができた。	「つきたい学力のために図書を活用する」ことを忘れない。(図書活用は一つの手段)
本を囲んでの班ワークで一体感がうまれた。	辞書指導など帯活動として取り組もうとするときの時間確保が難しい
辞書指導で語句の関連語に触れる機会が増えた	数学科は教科横断的な課題設定でないと、図書活用につなげることが難しかった。来年度はデータの活用・分布・標本調査で取り組みたい。
インターネットでは辿り着けない穴場スポットを見つけたり、正式名称を素早く見つけたりすることができたり等、タブレットと図書の利点を感じながら調べ学習を行うことができた。	テーマによって、十分な本を用意することの大変さや返却期限などで補習の日程が限られてしまう。
インターネットに比べて unnecessary な情報に惑わされず集中して考えることができる。	本の活用の仕方がわからない生徒がいた。
子どもがテーマの中で興味があることに力を発揮できると感じた。	



# 生徒の作品と本をセットに

貸出や学習内容につなげる



# 新聞と一緒に本を

記事に関連した本を  
手に取れるように

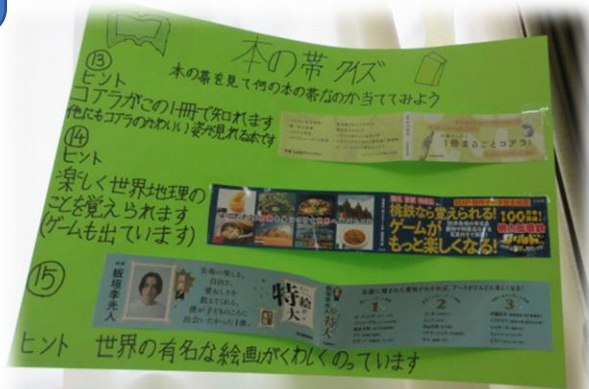


# 文化発表会の展示（図書委員会の活動）

図書委員  
おすすめ本



本の帯クイズ



オリエンテーションで作った作品&本



名言おみくじ



平和へのメッセー  
ジ



# 図書委員会の活動

## ブックトーク

## 平和読書

## 巡回文庫

メッセージ性のある絵本や行事や取り組み関連、SDGsに関する本や心のサプリ



2025年度 平田中学校  
**図書館便り No.5**  
 2025年7月16日発行

- 図書別貸出ベスト10**
- 1 天久鷹央の推理カルテ シリーズ
  - 2 小説ブルーロック シリーズ
  - 3 貸出をお話しします
  - 4 室名家 2
  - 5 推しの子
  - 6 軍のカービィ シリーズ
  - 7 ペノム 求愛性少女症候群
  - 8 ハイキュー!! ショーセツパン!!
  - 9 一冊でわかる戦国時代 英将軍2 絶頂去6 回全問題集
  - 10 怖い龍取り
- 川のほとりに立つ者は  
 当たりすぎて怖い心理テスト  
 爆笑テストの珍解答500連発!  
 さよならこはんを明日も君と  
 あやかしお宿に好敵手きました。

- クラス別貸出冊数ベスト5**
- |        |      |
|--------|------|
| 1 1年4組 | 123冊 |
| 2 1年1組 | 72冊  |
| 3 1年5組 | 65冊  |
| 4 1年3組 | 58冊  |
| 5 2年4組 | 56冊  |
- ベスト4までを1年生が独占しました!  
 おめでとうございました!  
 図書室の掲示板では、個人別の貸出冊数ベスト10を発表しています。  
 1学期の多読者ランキング1位の方は2年生で35冊借りていました。

**第71回大阪府青少年読書感想文コンクール**  
 ◆対象図書◆  
 ①自由図書 小説・童話・戯曲などの文学作品や科学・歴史・伝記などの図書  
 ※フィクション、ノンフィクションを問わず。  
 ※対象以外の詳細図書も自由図書に含む。  
 ◆評選図書◆  
 『わたしは食べるのが下手』 天川栄人著  
 『スラムに水は流れない』 ヴァルジャ・ハジヤージ 著  
 『鳥居さきみ子: 家族とフィールドワークを進めた人類学者』 竹内紘子 著  
 ◆用紙・字数・規定◆  
 ・原稿用紙 400字詰め 5枚以内  
 ・題名・学年は欄外に書くこと。  
 ・原稿用紙に学校名・氏名は書かない  
 ・ホチキスで上をとめること。  
 ・応募票が別途あり (提出者に配布)  
 ◆提出期限◆ 8月25日(月)  
 ・提出は国語科の先生 (1年⇒川崎先生、2年⇒中川先生、3年⇒久瀬先生まで)

**茨木市図書館を使った調べ学習コンクール**  
 公共図書館や学校図書館を使って調べた作品。身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなどテーマは自由です。  
 ※調べるときに利用した資料名や図書館名を書いてください。  
 ※作品の形態 (目次) サイズ・ページ数  
 ・A4サイズまで (横造紙などにまとめる場合はA4サイズに折りたたんで応募します。)  
 ・50ページ以内 (目次・参考文献一冊は除く)  
 ※締め切り 8月25日(月) 提出は担任の先生迄

放送で図書委員おすすめの本を紹介します。  
 今月は1年1組、1年2組、1年3組、2年2組、3年1組、3年3組が担当です。

**7月のブックトーク**  
**『失敗図鑑』** すこい人ほどダメだった! 大野 正人著 文響社  
 この本には、有名な歴史上の人物で、こんな人にならなりたいなと思っていた人の面白い失敗がたくさん書いてあります。こんなにすこいでも、失敗はするということを改めて分かってことができ、自分が失敗した時も大丈夫だと、勇気づけられます。図書室に入って、分額280の伝記の欄にあります。すこい面白いので、ぜひ読んでみてください。  
 (1年1組)

**『空飛ぶ広報室』** 有川 浩 著 幻冬舎  
 不慮の事故で夢を絶たれた元・戦闘機パイロットの空井だいつけ。異動した先の広報室で待ち受けていたのは、ミーハー室長とベテランの一番も二番もある先輩たちだ。そしてTVディレクターと出会い、物語は展開していく。  
 僕は自衛隊や戦闘機が好きでこの小説を選びました。広報室で起こっていることが面白く、事件が起こる展開も面白いです。ぜひ読んでみてください。  
 (1年2組)

**『ネメシス』** 今村 昌弘著 講談社  
 この小説は、2021年にドラマ化され、2023年に映画化された作品です。主人公の風真はお人好しの探偵で、助手のアンナは自由奔放だが実は天才。そしてダンディな社長の黒田が様々な事件を解決していくミステリー作品です。  
 この本の良いところは、ストーリーが分かりやすく出てくる人が魅力的な人がばかりで、読んでいて楽しいところです。私はこの本の面白さももっとと伝えたいと思います。ぜひ読んでみてください。  
 (3年1組)

**『いのちの事恋から 2』** 星野 源著 KADOKAWA  
 この本は、2017年から2023年に雑誌『ダ・ヴィンチ』に掲載された原稿に、4編の書下ろしを加えた星野源のエッセイ集です。  
 この本には、星野源のコロナ禍での毎日、進化する音楽制作、大切な人との別れなど、約7年半にわたる日々と創作についてなどが書かれています。普段知らないこのない生活の裏側を知ることができとても面白いです。  
 (3年3組)

# 朝の読書



みんなでやる  
毎日やる  
好きな本でよい  
ただ読むだけ



# 図書館オリエンテーション

- ・本が生まれるまで  
(本ってすごい！)
  - ・分類の話 (NDC)
  - ・情報の見つけ方  
(目次、索引)
- 参考：赤木かん子さんの実践



おためし読書

新たな発見  
「こんな本もあるんや！」

さまざまな分類の本と出会う



思い思いに好きな本を探す

➡貸出へ



# たねをまく～「たがやす」～

- ・本と課題(つきたい力)をつなぐ
- ・子どもたちと本との出会い  
先生たちと本との出会い
- ・可能性を広げる
- ・職員室での会話→生徒の会話が変わる?

## 和楽器

### 和太鼓



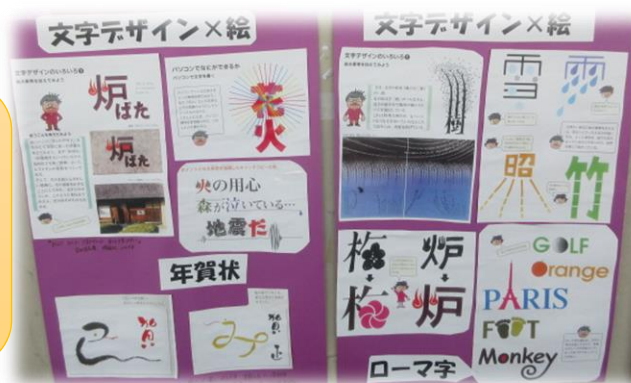
### 尺八



### 三味線



先生、これ  
つくりたいねん。

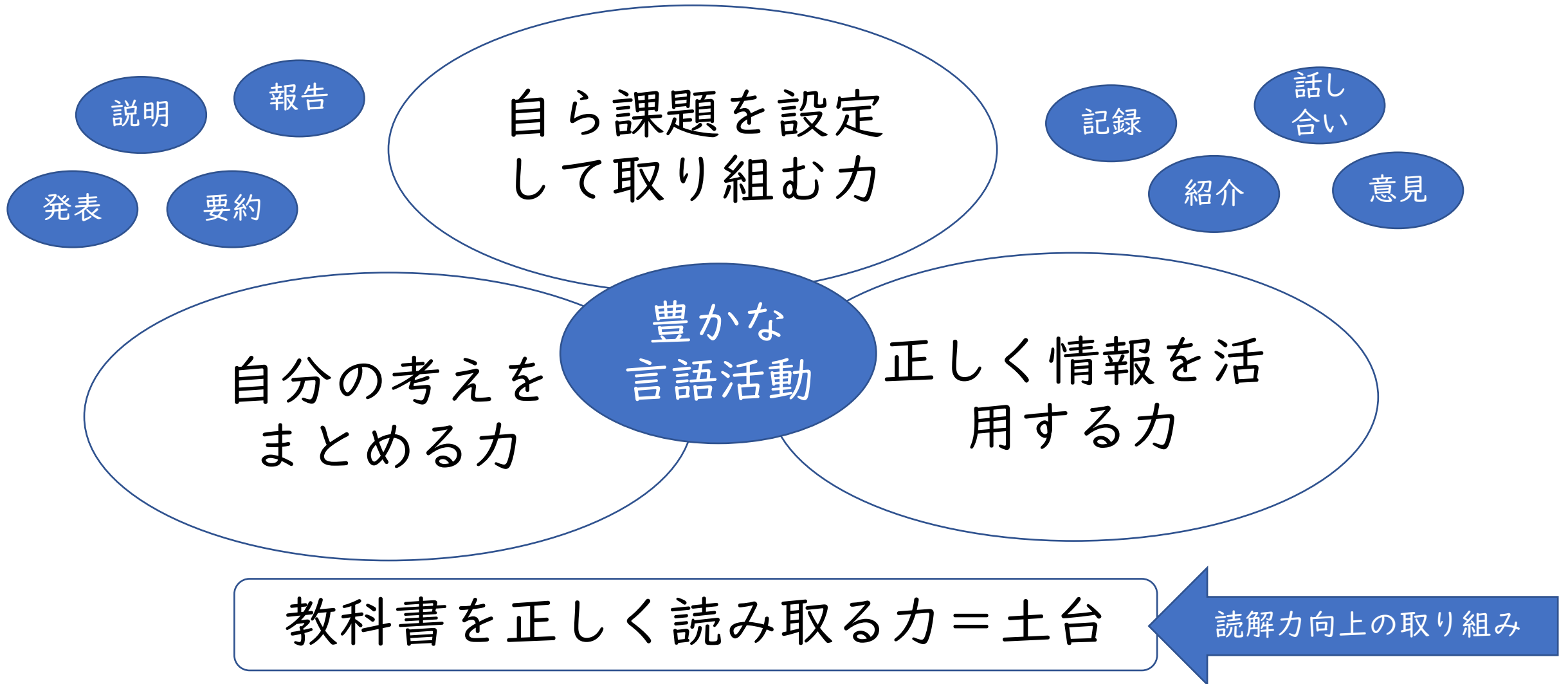


職員室前や特別教室前に掲示  
授業や取り組み、時期と  
コラボした内容に

掲示物=  
情報ステーション



# つけたい力→生徒たちの「生きる力」へ



# 自分流枕草子・創作俳句

古人に倣い、表現を工夫して描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

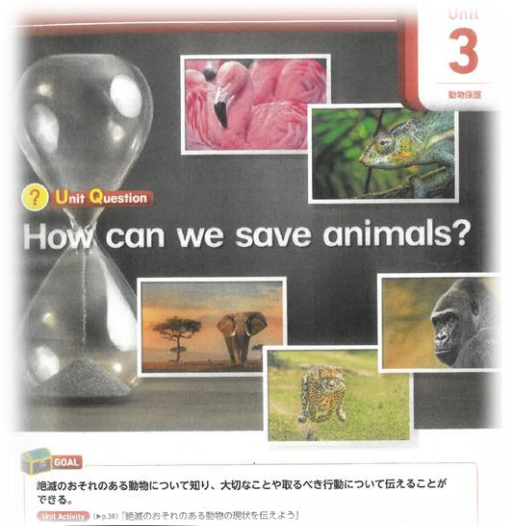
表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。



歳時記や季節の行事の本を活用

定番の活動も、図書やタブレットをプラスすることで、生徒たちの思考を促し、より深みのある内容へ



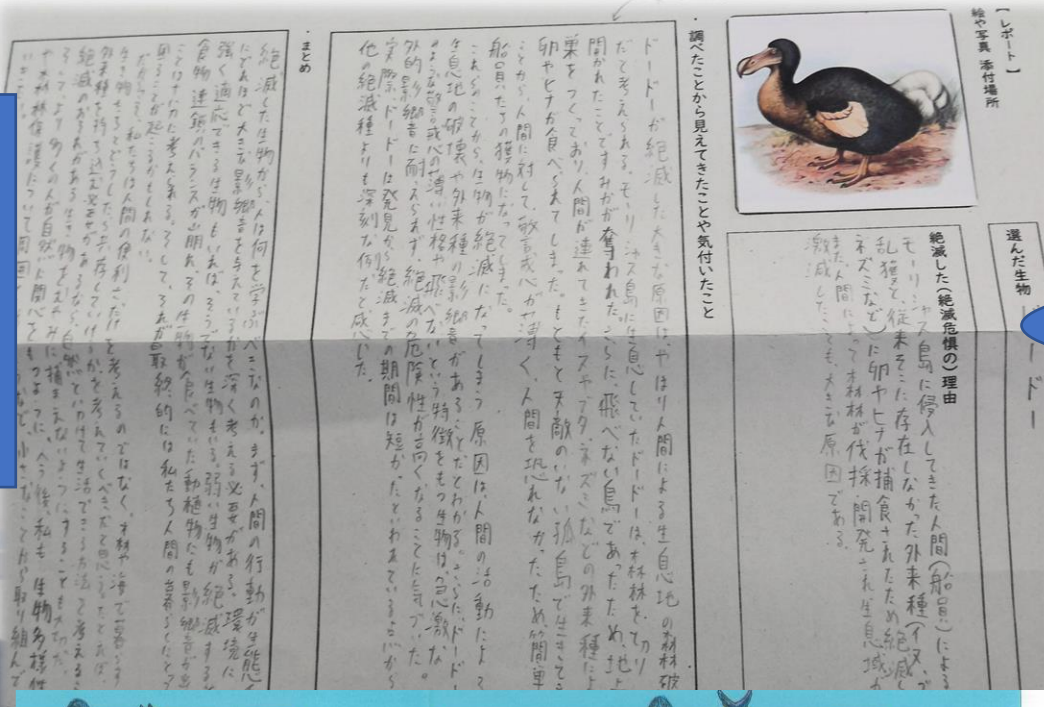


# 国語「絶滅の意味」関連レポート

単元のはじめにゴールの言語活動を提示  
通読後、関連書籍を見て、視野を広げ、読みを深める

英語科・理科とのつながり

本を通して対話  
→ 深める・広げる



過去の成果物をモデルに



# つながる学校図書館

主体的に学習する生徒をめざして  
～ゴールを見据えた言語活動の研究～

NO.10 2025  
文責：上山田朋子

## 和歌山市から視察

久瀬先生・倉村先生、ありがとうございました！

### 3年国語科「何のために働くのか」久瀬先生



班で意見交流し、WBにまとめ、それを貼り出して発表



#### 久瀬先生から

他教科でも使える力という視点を意識して授業づくりをしている。今回の授業は、**根拠を明確にして、自分の意見を述べる力**を意識している。今回は「つけたい力」で**教科横断的な学習**を行ったが、「絶滅の意味」という説明的文章では、理科や英語と内容的な教科横断的な学習を行うことができた。自分流枕草子や俳句、レポートなど**創作的な活動**を中心に学校図書館を活用した授業を行っている。

「国語科とのつながり」  
根拠をもとにして、自分の考えを構築し、意見を述べる。

「自分は何のために働くのか」  
本文の内容をもとにして考える。  
お金のため？アテンション（他者からのまなざし）のため？  
予想される反論を考え、さらに自分の意見をブラッシュアップする。（以前の「絶滅の意味」の本文構成を踏まえた学習に）

### 3年社会科 公民的分野「政党の役割」倉村先生



導入で生徒にとって身近な「きのこの山」と「たけのこの里」を使って、「政党」についてイメージをもつ  
→ワークシートをもとに教科書で重要語句の確認

複数政党制のメリットとデメリットについて、資料を根拠に説明する。



#### 倉村先生から

3年後「有権者」になる生徒たちに主体的に政治について考える土台をつくることを視野に入れて、授業を構成している。授業の導入で、「子どもたちをいかにひきつけるか」が重要だと思っている。国語科で学んだ内容「**根拠をもとに説明する**」ということを3回程授業の中で問うた。複数政党制について考え、選挙の学習へとつながる。昨年度、公開授業で「東北地方の旅行プランをつくらう」という学習を行った。「つけさせたい力」をつける授業が大前提—図書活用を通して、できるところとできないところがある。「図書活用をしなければならない」という意識から、**図書活用**に教師側が縛られてはいけないと思う。子どもの様子や変容は自分にとっては新鮮で、**言語能力**という観点からも活字に触れることは**重要**であると考えている。

#### 視察された先生方から…

- ・授業の流れが丁寧でわかりやすかった。・導入を大切にされていることがよくわかった。
- ・図書の活用の仕方が参考になった。・自発的に聞く姿勢等ができてるのがすばらしい。
- ・他の班の様子を見て、根拠を具体的に探し始めていた。・小学校からつながる学習と感じた。

つきたい力を  
こどもと共有

- ・ 目標の提示 「なぜ」「何のために」課題に取り組むのか
- ・ 何を学ぶのか、どうやって学ぶのか、何ができるようになるのか

単元で身に付けた  
い語彙の習得

- ・ 使える「ことば」にするために—「活用」する場面の設定
- ・ どの教科でも使う語彙・教科としての語彙

単元・題材のゴール  
に向けた言語活動

- ・ モデルを示す—教師のモデル、過去の成果物等
- ・ 材料を示す—各教科で使ってほしい言葉・学習用語
- ・ ペア・グループでの交流—考えを広げる・深める・確かにする
- ・ 記録・要約・説明・論述

# 国語科で学ぶ「情報の整理」 「情報と情報との関係」

	読む		書く	話す・聞く	その他	情報・他教科
	文学的文章	説明的文章				
1年	随筆	要旨	段落	事実と意見	表現技法	原因 観点
	描写	要約	叙述	話の中心と中心に関わらない部分	主語・述語・接続語	結果
	情景描写	序論・本論・結論	根拠	紹介		根拠
	文章の構成・展開		助言	報告		比較
	表現の効果		案内			分類
	小説		報告			引用
			創作			
			記録			
2年	人物像	内容の解釈	具体例	論理の展開	敬語	具体と抽象
				説明		
				提案		
3年	主題	論理の展開	批評			情報の信頼性
		論説				
		報道				



# 国語科で培う「ことばの力」

	読む		書く	話す・聞く	情報・他教科
	文学的文章	説明的文章			
1年	●詩の鑑賞	●段落の役割	●創作	●メモと質問	●情報の精査
	●場面の展開	●段落どうしの関係	●比較による題材設定	●スピーチの構成	●意見と根拠
	●場面と描写	●事実と考えとの関係	●レポートの構成	●聞き手を踏まえた話し方	●原因と結果
	●語り手・視点	●要旨	●構成メモ	●事実と意見	●引用
	●心情の変化	●要約	●図表の活用	●材料の収集と整理	●情報の比較・分類
		●情報の精査	●案内や報告の文章の書き方	●話し合いの進め方	
			●根拠の示し方	●話の聞き方・質問の仕方	
			●意見文の感想交換		
			●表現の工夫		
2年	●短歌の鑑賞	●文章と図表	●創作	●話し手の考えとの比較	●具体と抽象
	●作品の設定	●文章の読み比べ	●材料のさまざまな集め方	●説得力のある話の構成	●情報の関係の表し方
	●人物の言動の意味	●異なる印象を与える構成と表現	●推敲の仕方	●資料や機器の活用	●意見と根拠の吟味
	●人物像の変化		●根拠の吟味	●材料の収集と検討	
			●意見文の構成	●異なる立場や意見の尊重	
			●豊かな描写		
			●創作の感想交換		
3年	●俳句の鑑賞	●説得力のある文章	●評価	●話の予測と評価	●情報の信頼性の確かめ方
	●批評	●批判的に読む	●情報の信頼性と客観性の吟味	●相手や目的に応じたスピーチ	●具体例、根拠、反対の関係
	●作品の主題を考える	●情報を深く捉える	●目的に応じた文章の種類と構成	●場面に応じた話し方	
	●表現の工夫		●批評の観点	●多様な意見の想定	
	●対比と象徴		●文章全体の推敲	●合意形成	
			●材料の検討		

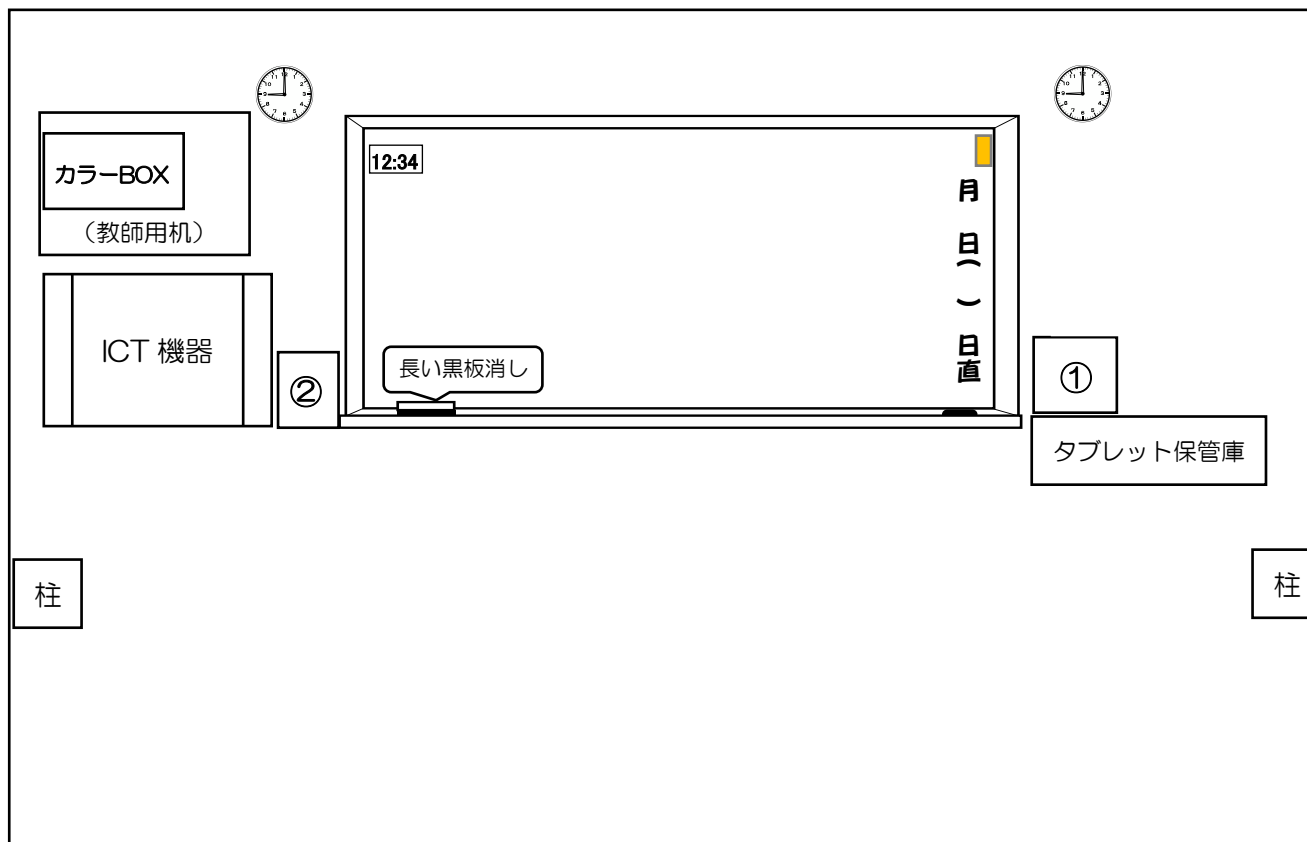
本日は、ご参加いただき、ありがとうございます。

- ・学校図書館を活用した授業で使った本のリスト
- ・図書館を活用した学び方指導体系表

茨木市外の方は  
本日受付で配布しております。

茨木市内の方は  
市内共有フォルダ→平田中学校  
→SE学校公開授業研究会2025

# UDを意識した教室環境づくり



# 平田中の学力向上の取り組み

読解力 → 「読み解く力」

その育成が意図しているところは “I.T.O”

認識 (INPUT) 思考 (THINK) 表現 (OUTPUT)

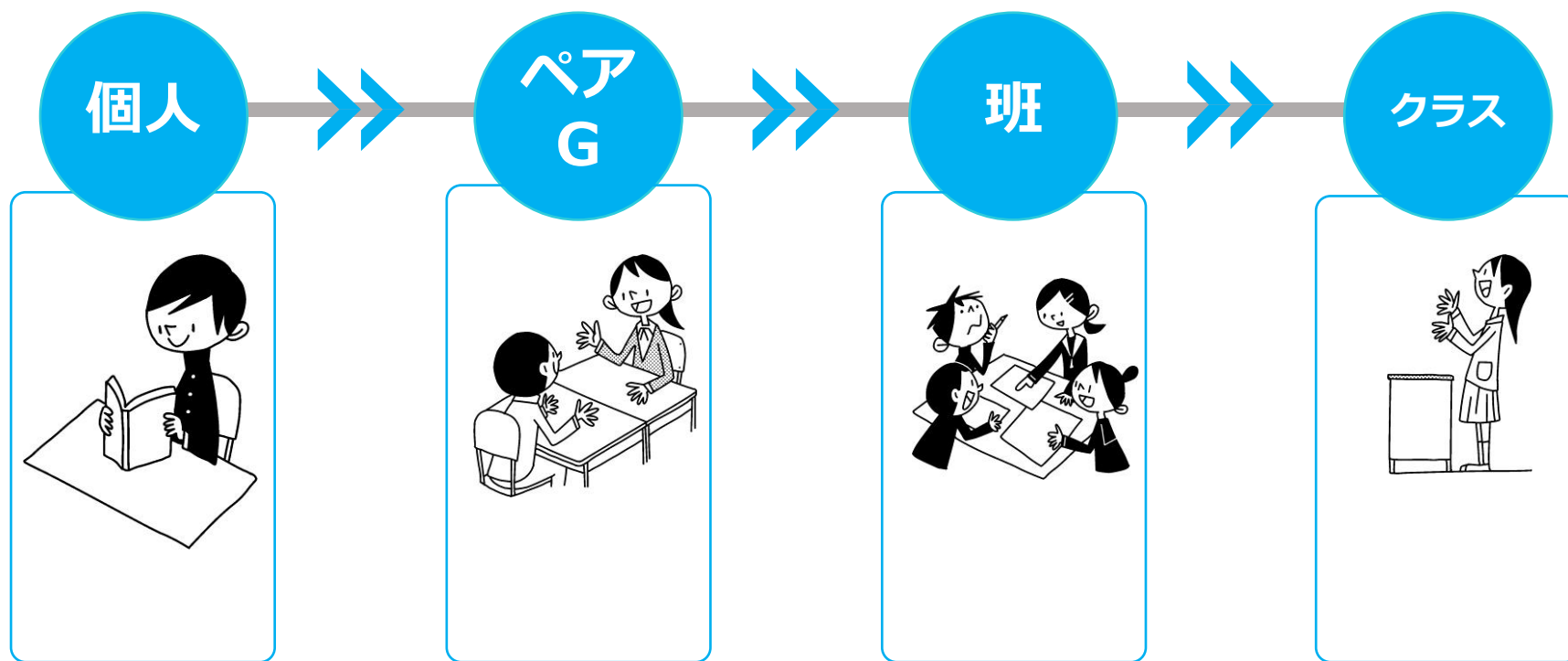
「読み解く力」は、

「社会を生き抜くための力」の基礎となる力。

昨年度平田中ブロック研修会資料より引用

# 「ITO」を意識した授業や単元の流れ

「個人 ⇒ ペア・グループ ⇒ 班 ⇒ クラス」のイメージ



「認識 ⇒ 思考 ⇒ 表現」の流れを授業者も意識している。